

# 「第2回 くまもと戦争遺産の旅 ～記憶の遺産を継承するバスツアー～」 実施要項(案)



菊池市指定文化財  
「花房飛行場跡給水塔」

1 日時 2019年(令和元年)8月4日(日) 親子参加も可能。  
9時発～16時半頃帰着 ※小雨決行

## 2 趣旨

戦後74年を迎えるにあたり、県内各地に残されている戦争の記憶をつたえる戦争遺産をめぐる、「戦禍の記憶」を振り返り、「平和の大切さ」を考える機会とする。また、熊本に平和のミュージアム「ピースくまもと」設立に向けて県民啓発の場とし、新たな観光視点である「記憶の遺産」を継承する取り組みの機会とする。

## 3 日程 「軍都熊本の大江地区、合志の戦跡と菊池飛行場の現地、 菊池飛行場ミュージアムをめぐる！」見学コース

①熊本市市民会館発(9:00) → ②熊本空襲慰霊碑(※車窓)  
→ ③歩兵十三聯隊正門跡(※車窓) → ④大江地区戦跡「歩兵十三聯隊食堂」(9:20～10:10) → ⑤再春医療センター内「留魂碑」 → ⑥「黒石原飛行場奉安殿」(10:40～11:30) → ⑦戦争証言を聞く会：泗水公民館大研修室(11:50～12:20) → ⑧菊池飛行場ミュージアム見学、昼食・買物「道の駅 泗水」：2斑に分け見学等(12:20～13:10) → ⑨菊池(花房)飛行場「慰霊碑、給水塔、油倉庫・格納庫 他」(13:20～15:20) → ⑩熊本市市民会館着(16:30頃)

## 4 事業計画、主催・共催団体等

(1) 本事業は、ピースくまもと設立準備事務局会が行程案を作成し、旅のよろこび株式会社との共同事業として実施する。※第2回チラシ参照  
旅のよろこび株式会社：熊本市北区飛田3-1-28・宮川和夫代表・345-0811

(2) 今回コース見学では、「戦争遺産フォーラムくまもと」参加団体である、花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会、合志の近代遺産を学ぶ会、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークの協力を得る。

(3) 各戦争遺跡では、以下の証言者により現地講話の予定

- ア 大江地区戦跡「学園大学内十三聯隊食堂」(戦争を語り継ぐ会で当時の活字証言の紹介)  
：生協くまもと証言DVD・田中潔子さん「召集されたお父さんとの面会の記憶」
- イ 再春医療センター内「留魂碑」：当時の活字証言を語りで紹介
- ウ 黒石原飛行場：橋本繁男さん(バス内で証言もしくは証言DVDをバス内で放映)
- エ 菊池(花房)飛行場：前田祐助さんもしくは倉沢泰さんの1名(公民館内で証言)

## 5 概要・事業評価 他

- 現地見学では各団体による「戦跡平和ガイド」活動を行う。案内及び順路・時間配分等を考慮しコース等も担当いただく。見学先承諾は、熊本学園大学総務課(096-364-5161)、熊本再春医療センター(096-242-1000)、合志市生涯学習課(096-248-5555)。使用申請は泗水公民館(0968-25-2028)
- 大型貸切バス利用(定員45人)、募集は40名。弁当は「持参」もしくは旅のよろこび社でお世話(道の駅泗水にまとめて注文)あり。
- 参加費予価 4800円(入場料・資料代・保険込み)、子ども料金4500円。
- 証言者・関係団体・講師等の薄謝も準備
- 参加者募集等は、事業案内チラシを各所に配布告知し、募集概要等は本会HPにも掲載する。
- 本事業に関しては、観光学の視点から東海大学熊本キャンパス経営学部観光ビジネス科高野誠二准教授に、昨年度に引き続き指導助言・評価を仰ぐ。
- 昨年度実施の調査項目を整理し、感想アンケートと合わせてA4版両面のアンケートを作成し、合わせて参加学生によるモニター調査も実施する。
- 熊本でのダークツーリズム観光の取り組みとなる「記憶の遺産」を継承するバスツアー企画に関し事前告知及び当日概要の紹介を報道機関に依頼。



問い合わせ先・連絡先  
ピースくまもと設立準備会事務局長 高谷 和生  
自宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
個人携帯 090-1513-5528  
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp  
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>